

# 広報 **なかがしま** 6月号



きれいに咲いた各種のエビネ

## 日本の自然が生んだ

# 清楚で可憐なエビネ展 開かれる

長浜町須沢の水口健さん（日本エビネ園）宅で、第十回エビネ展が四月二十九日から五月六日まで開かれました。

杉林に咲きほこる数十万株のエビネが一斉に開花して、県内外からエビネ愛好者等およそ一万人がつめかけ、日本の自然が生んだ清楚で可憐なエビネの美しさを満喫しました。

エビネは、一部のものを除けばいたって育てやすい植物で、日陰でよく育ちます。ただ野生種ですので、その性質と自生の条件をよく知ることがたいせつです。

エビネは、自然では常緑樹の下で、腐葉の重なった、湿り気の多い、ゆるやかな谷間に自生します。栽培環境は、日光の直射を避け、朝日の当たるようなところか、ヨシズ下などが望ましいようです。湿り気を好みますが、通気・排水をよくして、夏は涼しく、冬は風を避けて暖かく、空気湿度を保つことが肝要です。

植付け時期は、芽立ち前だと三月中旬の芽が動き出す前、開花後は五月上旬・中旬の新葉の根元より発根が始まる前、花芽形成後だと九月中旬以降の寒くなるまでの間が適しています。

用土は、露地植えの場合、腐蝕の多い肥沃な土壌がよく、通気・排水をよくして、適度の腐葉土を混ぜれば理想的です。

あなたも育ててみてはいかがでしょうか。

### 区長会・この人

## 区長会



審議する各区長

### 第二次開発事業の促進などの要望

町では、地区の代表者である各区長さんに四月二十日、町体育館に集まっていたら、五十七年度区長会を開きました。

二宮町長のあいさつ、各課長の紹介を行なったあと、明閑区長会長から町に対する要望事項の発表がありました。

それによると、①第二次開発事業の促進について②国道三七八号線の早期整備促進について③肱川流域の清掃美化について④三件各支部の要望は四月末に提出されました。概要は次の通りです。

#### 〔長浜支部〕

- ◎街路灯の設置
- ◎ガードレールの設置
- ◎カーブミラーの設置
- ◎側溝のふた、通学道の有蓋側溝
- ◎下水道の設置工事、接合工事
- ◎地すべり場所の補修など
- 〔今坊支部〕
- ◎危険防止の手すりと歩道の拡張
- ◎カーブミラーの設置
- ◎悪水防止のための立上りの設置

- ◎トラフ排水路の施工
- ◎国道三七八号線への空かん及びくず入れの設置など
- 〔出海支部〕
- ◎下水排水路が不完全なため、この改善を
- ◎小水路にコンクリートのふたをして生活道に
- ◎不燃物投入のドラム缶の設置など
- 〔榊生支部〕
- ◎下水道のふたを完全なものに
- ◎河川へおりの施設の設置を
- ◎榊生川の橋に手すりかガードレールの設置を
- ◎須沢集会所連絡道の早期実現など

#### 〔大和支部〕

- ◎ガードレールの設置
- ◎通学路の舗装
- ◎谷川の工事を
- ◎部落内を流れている川の護岸の強化改修など
- 〔豊茂支部〕
- ◎生活道の排水溝の改良工事
- ◎町道下村へ椽線の排水受槽を確
- ◎認し対策を
- ◎町道谷上線で排水ヒューム管がある所の水抜きをするための会所の設置を

#### 〔白滝支部〕

- ◎危険防止のための側溝のふたの設置など
- ◎戒川幼児学級をへき地保育所に
- ◎町道及び生活道の舗装を
- ◎ガードレールの設置
- ◎防犯灯の設置
- ◎町道小規模災害工事の早期実現
- ◎集会所の建設など

## 区長会総会

### 完納達成のため 地区組織の強化を

昭和五十七年度区長会総会は、四月二十日、区長会終了後引き続き開かれ、五十六年度運営費決算、今年度予算、努力目標、研修旅行など原案通り承認されました。

それによると、五十七年度運営費予算は、三百七十三万九千二百五円で、前年度より三百二十二万五千九百二十三円多くなっています。今年度は九州・熊本方面へ研修旅行を行なうことになっており、その費用が計上されています。また、区長会努力目標には、次の四件がかかげられました。

- ①町民税、国民年金保険料、使用料などの完納達成―町財政の基盤をなす町税のほか、有線、下水道使用料、国民年金保険料などの完納達成のため、地区組織の強化を図るとともに、完納意欲の向上に努める。
- ②肱川流域の清掃美化推進―肱川上流において清掃美化を推進するよう、関係町村に強く要請する。
- ③保健衛生、環境衛生思想の普及―町民全体が健康で豊かな美しい町づくりに参加できるように、衛生思想の普及と啓もうに努める。
- ④交通事故防止運動の推進―正しい歩行、正しい運転により、町内から交通事故ゼロ、犠牲者の絶無に努力する。

最後に、港湾整備と工業開発、企業誘致と備蓄流通基地建設、福祉と文化施設の整備、役場庁舎と運動公園等の設備を早く具体化して、第二次開発事業を推進して欲しい旨の要望が決議されました。



神山 諦仁  
住職・47歳

### 「心の支え出石寺」



霊場・金山出石寺は、我が長浜町の心の支えであり、シンボルであります。開山以来千二百六十四年、近隣市町村は言うにおよばず、遠くは中国、九州地方まで信仰者を集めています。

広い境内は自然林に覆われ、靈気に満ち、訪れる人々の心を清めてくれる威風堂々の寺院で、神山住職は中興三十代に当たり、学識豊かな名僧であります。温和な住職は四男に生まれ、兄弟が早く亡くなり、年老いた父親を助けるため、十三年間のサラリーマン生活に終止符を打ち、仏教の道へ入信されたのです。自分の生き方の探求と、多くの人々の相談相手となり、信仰の手助けをしたいというのが動機でした。

山門の入口にある「ものを生かして使うが仏の道」という標語についてお尋ねしました。「凡ての物は六大(地水火風空識)から成立している。人間は、ほかの動物、植物、生物の「生命」を頂いて、「いのち」をつないでおり、物にはそれぞれ「生命」がある。その生命に感謝し大事に使うことが仏の教えである」と

住職は、「最近「住民」であっても町民でない人が多いですね。いわゆる人間の心がずみ、責任の転嫁をして、住民エゴに走りやすい現代世相の中にあつて、自分一人では何もできないという限界の中で、町を良くしたいという連帯意識と、お互いの信頼関係を育て、明るく働きたいのがある町づくりをする町民として生きてほしい」と願っておられます。町へ要望し、町の責任追求に明け暮れる単なる「住民」でなく、連帯と信頼を基盤として、自らの立場の中で懸命に努力するのが「町民」だのご意見でした。自分のエゴを通すために理論をふり回すのでなく、他人と相協調し、共に助け合つて生存することを痛感しました。

# 使用時間は午前7時から 午後9時まで

## 町民運動場の使用

昨年九月に完成した町民運動場(旧伊予木材跡)の使用について、町民の健康維持・増進のための施設として、多くの方々にご利用していただくため、このたび規則の改正を行ない、五月一日から次の要領で実施することになりました。

### 〔目的〕

町民の健康維持・増進のため町民運動場の円滑化をはかり、社会体育の向上に資することを目的としています。

### 〔使用範囲〕

町民運動場を使用する団体の責

任者は、必ず町内に居住する者でなければなりません。

### 〔管理人の設置〕

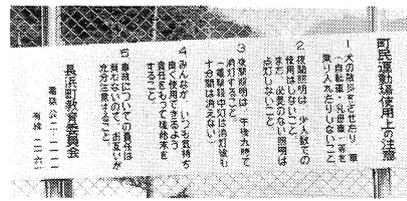
民間の管理人を選任し、町民運動場および施設の保全と円滑な運営をはかるものとしています。

### 〔使用時間〕

使用時間は、午前七時から午後九時までとなつています。

### 〔夜間照明〕

夜間照明の使用は、日没から午後九時までとし、不用な点灯はしないでください。特に消灯時刻を



厳守してください。

### 〔使用申請・許可〕

試合、まとまった人数による練習、体育大会等を開催する場合は、使用責任者が申請書に記入、捺印して使用日の前日(土曜日は午前中)までに教育委員会に提出して許可を受けなければなりません。使用許可は原則として先着順とし、重複する場合は、協議して決めることにしています。

### 〔入口鍵および照明鍵の取扱い〕

使用責任者は、使用許可証を管理人に提出して、入口または照明

鍵を受け取ってください。使用後は、直ちに管理人に返してください。

### 〔使用できる競技〕

ソフトボール(金属スパイクは使用できません) ヲテニス マクロ ヲケー ヲバレー

### 〔注意〕

使用中のいかなる事故についても設置者は責任を負いません。

### 〔罰則〕

この規則に違反した行為があった場合は、相当の期間その使用責任者が所属する団体の使用を禁止します。

## わが故郷を見直そう

### 北海道へ

### 七月上旬に10日間

新しい感覚と広い視野、しかも実践力のある青年を育て、活力ある新しい町づくり活躍してもらおうと、町教育委員会では四十七年度から毎年夏季に、町内の勤労青年の国内研修「長浜町勤労青年国内研修」を行なっていますが、今年度も参加者を募集しています。第十一回となる今年度は、七月上旬に十日間の日程で、北海道方面での研修を計画しています。研修の内容は、研修地の自然や歴史、生活、青年の生き方などを、民宿や現地青年との交歓などを通して自分自身の体験で直接学びとって認識してもらい、郷土づくりに役立てていただくというものです。

参加要領は次の通りです。

〔参加経費〕：経費は町が二分の一を負担しますので、個人負担は約八万円の見込みです。

〔申し込み先と期限〕：長浜町教育委員会へ、六月三十日までに。

〔申し込み方法〕：所定の用紙(教育委員会と地区公民館にあります)に、必要事項を記入して、教育委員会へ申し込んでください。

## 青春万歳

私が今、一番興味をもっているのは、青年団活動です。

は、私にいろいろな体験をさせてくれます。この活動に参加したおかげで、私自身、随分変わったと思います。

私は、昔から内向的な性格で、人と話をするということに、とても抵抗を感じていました。今でもその抵抗がなくなつたわけではありませんが、むしろ人と話すということに対して、努力してみようという姿勢が生まれてきたような気がします。例えば初対面の人と会った時、まず自分から話しかけて

## 青年団活動で友達を 新しいものに向けて行動



高木厚子 (20歳) 今坊・銀行員

みるとか、自分から話題を提供するなどです。自分の投げかけた間に答えがかえってくるというの、とてもうれしいものです。そこに感情を見出すことができたなら、なおさらのことです。いわば、私にとって青年団活動は、

みなさんも活動に参加して、心のふれあいを感じてはどうでしょうか。また先日、ある会に参加しました。そこで、若者らしさについて考えさせられました。私は、果して若者らしく生きているだろうか、つくづく感じた次第です。今ここで、私なりに若さについて考えてみると、若さというのは、いちがいに年齢だけのものではないと思います。純粋に何かに夢中になって努力することが、若さなのではないでしょうか。その姿こそ人に感動を与えるし、その人の歴史にもなりうるものだと思います。私たちの生活は、ややもするとマンネリズムに陥りがちですが、活気ある生活、活気ある人生を送るために、若さを保ち、常に新しいものに向けて行動する力を持ち続けたいと思います。



地元の青年と交流を深める研修生

### コミュニティ広場・保育日記

## 子供達の心を知って新しい道を



コミュニティリーダー  
山 中 高 光  
柴 (39歳)

昨年の秋、私が青少年育成委員を依頼された時から、コミュニティの活動らしいことにも取り組めず、また先日は八幡浜での会合に初めて参加しましたが、各先輩方が地域へ貢献されている姿に敬服致しました。私が常々考えていることを述べてみたいと思います。

最近、特に問題にされている青少年の生き方について、いろいろな分野で注目されていると思います。本当に今の青少年は悪いのか、私は子供達と過ごした三年間を振り返ってみて、今の子供も昔の子供も変わりはないと思います。変わったのは今の大人達の考え方だと思えます。

この二十年は、目まぐるしく変化しました。この間に、子供達を取り巻いている大人達は、いつ、どこで考え方を変えてしまったのでしょうか。

あの道は暗いから防犯灯をつけて欲しいというが、明りなどなくても明るかった社会は、どこへ忘れてきたのでしょうか。また、私達は子供達同志の世界を本当に知っているのでしょうか。いつまでも子供扱いは早計ではないでしょうか。わが子だけは良い子に育てた

いと願うのは、子を持つ親の心情でしょう。

そこで私は、わが子を教育するためには、他人の子を知らずして教育は有り得ないと考えたのが、私の子供会活動の原点である訳です。多くの子供達の心を知ることによって、子供達と共に進める新しい道が見い出せると私は考えたのです。子供達とサルビアの種子をまき、菓箱を作り、一緒に木に登り、小鳥が入るように願い、二か月かかって子供達と共に作りあげた紙芝居など、お互いに考えながら、笑いながら、どろんこになり、汗を流したことは、体で知る



人生ゲームのページに過ぎないと思えます。

このすばらしい感覚を持った子供達の健全な育成は、今からだって遅くはないのです。足を踏みはずさせては絶対にいけないのです。「温かい地域の人達によって導く」これが私の考えるコミュニティだと思えます。

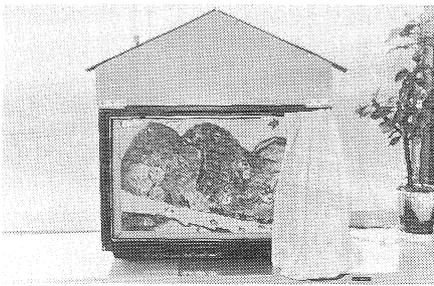
最後になりましたが、私を指導者と呼ばないで欲しいと思います。我々は、主演者でも、主役でもないのです。あらゆる分野の知識人から知恵を持ち帰ることが、私達の任務であり、どうしても欠かせ

ないことだと思えます。今後ともより一層ご指導いただきますようお願い致します。

## コミュニティ施設の整備

コミュニティ施設や生活環境の整備は、地域にもっとも関心が深く、また実情をよく知っている地域住民の自主性によってすすめるべきでしょう。地域社会への愛情は、何らかのかたちで、情熱なりエネルギーを地域課題の解決に投入することから生まれるものでしょうし、また地域社会のなかで何らかの役割を果たしたときの充実感から生きがいを感じることもできます。

今までのように、市町村まかせではなく、住民が知恵を出し合い活動し、場合によっては市町村と力を合わせながら地域づくりをすすめることが、これからの地方自治を支え、発展させることにもなります。



子供たちと作った紙芝居



新学期も早二か月を経過しようとしています。子供達の元気な「お早ようございます」の声で、にぎやかな一日の保育が始まります。小さな目はそれぞれに、嬉しそうなお目、悲しそうなお目、怒ったようなお目、瞳の輝きは毎日変化しています。発達段階も個人差があり、子供達の個性を大切に接しています。まず生活習慣を身につけることが大事です。三才ころになると、「自分のことは自分でしよう」という心が育ってきます。もし失敗しても、やらせてあげる、親や周囲の配慮が必要です。食事の前や外から帰った時は手を洗い、朝起きた時は顔を洗い、歯を磨くといったことは、私達の習慣的な行動です。しかし子供達にとっては苦痛であることが多く、遊び回って疲れていればなおさらです。ましてしつこく命令されると、いやがります。しかし、子供達は、



庭づくりにはげむ園児たち

何かを達成したい、そして、それを回りの大人達に認めてもらいたいという欲求をもっています。だから四、五歳ごろまでの間に、苦痛ではなく、しかも満足感、達成感を味あわせるようにしながら、良い習慣を自発的に身につけさせたいと思います。子供の習慣形成の速度は非常に早く、いったん悪い習慣を身につけると、良い習慣をつける邪魔になります。長浜町は素晴らしい自然に恵まれています。山や野で、また海岸で、太陽をいっぱいにうけ、これらの中から子供達は、良い習慣を身につけてくるのではないかと考えます。創造性の優れた人間形成の基礎作りは、幼児教育に負うところが大きいと考えられます。私達保育者はこれらを基本に毎日頑張っています。子供達の教育は、家庭と一体となつたものでなければなりません。一人一人の環境や性格は違っても、子供達を十分に理解し合っていけば達成できます。

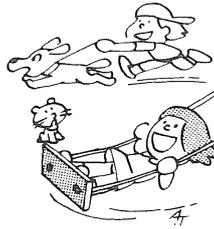
毎日元気で、楽しく、ある時は大声を出して過しています。(長浜保育所保育母・吹春みね子)

# 子供は風の子 太陽の子

## 基礎体力づくりは乳幼児から

「子供は風の子太陽の子」とよくいわれます。

この言葉には、子供は戸外で活発に動きまわらなければ丈夫に育つものではないという、子育ての



教訓が秘められていて、親は昔から子育ての中で、

小魚を食べさせて骨を丈夫にしたり、重いものを持たせて子供の足腰を強くするなど、いろいろ工夫をこらしてきました。

しかし、最近では、親の子供に対する期待感が変わってきたことや、社会環境・生活様式の変化などによって、基礎体力づくりについて、改めて考えなければならぬ点が出てきています。

学歴社会などといわれ、小さいときから「知育」だけに気をとられがち傾向がみられるのも、そ

の一つ

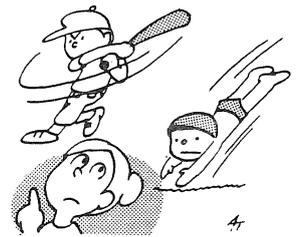
です。

本来、子供は自然の

いろいろな環境の中で、常にたくましく、豊かに育とうとするものです。

「意欲をもって助ける親——これが昔も今も変わらない子育ての基本といえます。」

体力づくりの最も基礎となる乳幼児期（おおむね零歳から五歳）



の子供を対象に、基礎体力づくりの基本的な考え方を整理してみました。

基礎体力とは、だれにでも必要な体力で、とくに子供のときにつちかかっておかなければならない体力のことです。

長い生涯を生き続けるために必要な生命力は、乳幼児期を中心とした子供のときの体力づくりによって充実されるといわれます。

つまり、生命力は体力と密接な関係にあり、しかも、子供のときの体力づくりがその基になっているといえます。

好ましい体格や体型をつくりあげていくには、適切な身体活動が必要なのはいうまでもありません。

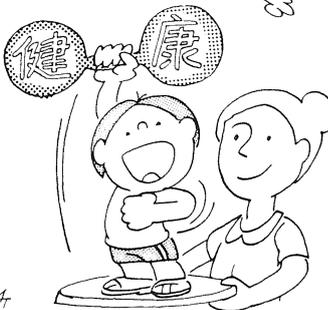
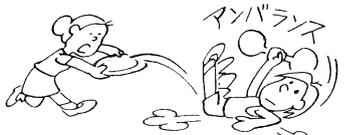
その方法にはいろいろありますが、大切なことは、子供の体は伸びる時期に伸ばすとともに、子供には個人差があるということです。

つまり、伸び盛りにタイミングを合わせた体力づくりを心がけるとともに、子供の体の発育には自然に備わった性質や個性がありま

すから、他の子供たちと同じような画一的な発育を期待したり、ないものねだりをするのはよくないといえます。

子供の持っている個性にあった体格や体型に育てることが大切です。

子供は風の子、太陽の子です。戸外で積極的に遊ぶ子供にたくましい生命力と豊かな心が宿ります。



子育てという、最近では、ややもすると知育のみに気をとられがちですが、「才子多病」という諺があります。知育も大切ですが、子供のうちは積極的に戸外に出してのびのびと遊ばせ、たくましく育てるようにしたいものです。

「健全な精神は健全なる身体に宿る」のであって、運動不足にさせて体をだめにしてしまうのは、「宝の持ちぐされ」どころの話ではありません。

外遊びに出したら、けがをして帰ってきたので、もう外には出さないでおこうなどと考える人もいるようですが、「蛇にかまれて朽ち繩に怖じる」ことのないようにしたいものです。

過保護になりがちな親は、子供は自分に似て体があまり強くないなどと考えている場合が多いようです。

しかし、子供は親よりもすぐれた成長をするものです。「親の甘茶が毒になる」ことの危険性に注意しましょう。



ガンが日本人の死亡原因の第一位になったのは、昨年（1997年）のことです。それ以前は脳卒中が第一位で、ガンは第二位でしたが、昨年はこの順位が入れかわりました。

ガンの中で最も多いのは、男女ともに胃ガンで、ガン死亡全体の約三分の一を占めています。第二位は、男は気管・気管支及び肺ガンで、女は子宮ガンです。

現在の医学では、まだすべてのガンを完全になおすことはできません。ガンによる死亡を防ぐ方法は、早期発見、早期治療しかありません。かと言って、す

## ガンの予防

### 集団検診で早期発見、治療を

実施しています。これらの検診を一年一回はぜひ受けて健康を確認し、治療すべきものは早期治療をして安心して毎日を送りましょう。胃ガンと子宮ガンによる死亡についてはまだ多いながらも、毎年死亡者が減少しています。これは治療医学の進歩のみでなく、長年

の間に集団検診が進んで、早期発見、早期治療ができるようになったことも、一つの大きな理由になっているのです。ガン検診は、自分が健康だと思っている時、自覚症状のない時から、毎年受けましょう。そうすれば、いつか、もしガンが発見されたとしても、そのガンは早期に見つかったものとして、安心して治療を受け、より早い回復を期待できるでしょう。せっかくある検診の機会を逃がさないで、勇気をもって受診しましょう。（保健婦・一宮）

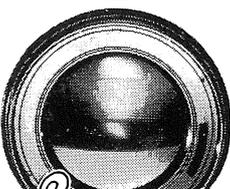
へるすあい(ヘルスアイ)とは「健康の目」

ルポ・町の歴史

郷土を愛する心を  
教育事始め式



四月十四日午後一時三十分から、体育館大ホールで昭和五十七年教育事始め式が行なわれた。町内小・中学校の先生や保育所の保母さんら関係者およそ二百十人が参加して、新しく赴任した先生の紹介や、郷土を愛する心を育てる教育基本方針などが発表されたあと、親睦を深めあった。



文化講演会  
歌づくり人生

歌づくり人生  
文化講演会

四月二十四日、白滝の小野地蔵で恒例の春まつりが行なわれた。午後二時からのもちまきや福まきがあり、地元の人達およそ六百人がつめかけて、特等の自転車は白滝の森川明美さんが好運を射とめた。小野地蔵は延命地藏として昔から親しまれ、多くの人達でにぎわった。

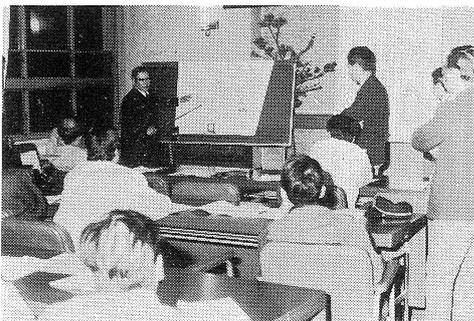


五月九日午後二時三十分から、長高体育館で文化講演会が開かれた。歌謡道場で有名な遠藤実さんを講師に迎えて「歌づくりに人生」というテーマで講演が行なわれた。少年時代の苦しかった思い出などを話され、最後に先生の伴奏で二宮町長が「北国の春」を歌って、出席した八百人の人達の拍手を浴びた。



充実強化めざして  
消防団幹部研修

四月二十八日午後七時から町体育館に消防団長浜分団の班長以上およそ二十五人が集まって、消防長浜支署の指導による研修会が開かれた。消防法規、火災の利配置状況などの研修のほか、図面上でのポンプの配置訓練などを行ない充実強化をめざした。



町の歴史 ⑩

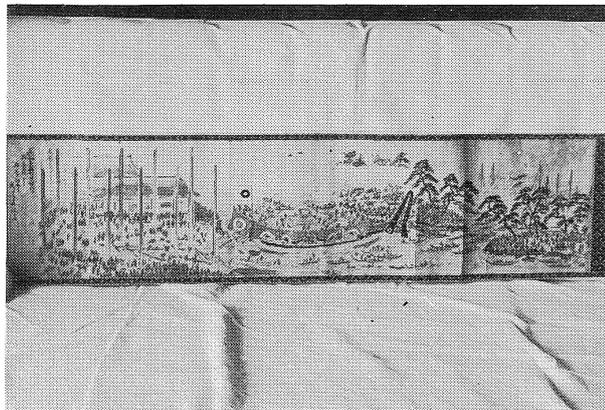
一六一七年(元和三)初代御船奉行に任命された市橋新右衛門は、元和九年に至る七年間、海軍行事の拡張に専念したため、船乗、船数も増加し、長浜は町の体裁を整えてきた。

御船奉行は、大目付以下百八十六人で組織されているが、その中、御船手組は百二十二人をしめている。櫛生には浜番一人、須合田詰(白滝)として四人の役人が配置されている。須合田には米倉、塩倉があり、運搬してきた米の売買、貯蔵、塩の検閲、貯蔵、分配の事務をした。旧小石邸は代官屋敷、西野邸は塩役所及び塩庫であった。大洲藩の長浜役所は、江湖の港(長浜中学校の敷地と一部船だまりの処)の波止場筋にある駒手町が中心である。船奉行所(長浜小学校の敷地)に大洲藩主邸があり、船奉行が常任して船艦および士卒の監督ならびに長浜、青島を支配した。波戸番所、営繕所、御船蔵、御作事所、町会所が駒手町にならび、少し離れた浜の手に浜番所、大黒町の谷村医院の前、島田フードセンターあたりに新谷藩屋敷があった。

同藩の御船蔵は仁久にあったらしく、同藩の出海には浜番所がおかされた。

一六三五年(寛永一二)御船手組が出来て十八年後に、徳川幕府は諸大名に参勤交代(隔年交代)を命じ江戸に出席させた。このため、大洲藩主従の出入は言うに及ばず、列国の諸侯、老公、尊貴歴々の休泊で、船着場の長浜は、海陸都会の重要な港となった。

一六六七年(寛文七)幕府船手浦巡察使の報告によると、今房、長浜、仁久、上老松、下須成、須合田、沖浦、洲沢、櫛生、和泉、青島の家数六百六十五軒、船数百四艘、加子(水夫)五百六十七人で、加藤貞泰長浜上陸以来五十年間に、驚異的な発展をとげたのである。(長浜町文化財保護審議会委員、久保七郎)



江湖の港 駒手丸進水の図

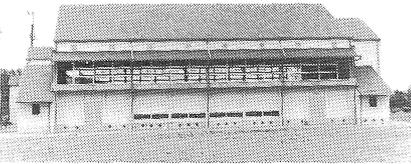
# 喜多灘小屋体など完成

## 簡保、年金の還元融資

みなさんの中には、郵便局の簡易保険に加入されている方も多いことと思います。これはみなさんの生活の安定と福祉の増進を図る目的で創設された生命保険です。

長浜町では、五十六年度は次表のとおり融資を受けています。

喜多灘小屋体



### 昭和56年度年金積立金還元融資事業

事業名	事業費 千円	借り入れ額 千円
町民運動場整備	25,910	13,100

### 昭和56年度簡易生命保険積立金還元融資事業

事業名	事業費 千円	借り入れ額 千円
喜多灘小学校屋内運動場増改築	53,189	17,200
住宅新築資金貸付	55,000	41,200
住宅改修資金貸付	16,000	12,000
宅地取得資金貸付	9,400	7,000

簡易保険、国民年金、厚生年金などの掛金を積み立てたお金は、一部が市町村に還元融資され、いろいろな事業に使われ役立っています。

## 児童手当の現況届

### 提出期限は六月末日

児童手当を受けている人は、毎年六月中旬に「児童手当現況届」を現在住んでいる市町村に（公務員の方は勤め先に）出すことになっています。

この現況届は、児童手当を受ける人の前年の所得や子供を育てている状況などを確かめて、引き続き児童手当を支給するかどうかを決める上で必要なもの

で、現在児童手当を受けているすべての人は提出しなければなりません。

もし、この届を出しませんでしたら、児童手当を受ける資格があっても今年六月分からの支払いが受けられなくなりますので、忘れず提出してください。

### 老人・重度心障者・母子家庭

## 7月から医療費受給者証がかわります

老人医療費受給資格者証、重度

## 商業統計調査にご協力ください

六月一日には全国いっせいに商業統計調査が実施されます。この調査は、我が国の商店の販売活動の実態や分析状況などを明らかにすることを目的とした非常に重要なもので、三年毎に行なわれており、今回で十五回目になります。

調査の結果は、国や地方公共団体などにおける各種行政施策の基礎資料として、多方面に利用されます。

長浜町では、卸売業、小売業、及び飲食業を営んでいるすべての商店（約三百店）が調査の対象となります。調査員が商店を訪問して、調査票の記入をお願いしますから、よろしくご協力ください。

## 交通事故のご相談は

### お気軽にどうぞ

無料でご相談に応じております。午前9時半～午後4時半（平日）土曜日は正午まで



◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます。

◎弁護士相談日：毎週木曜日午後1時～4時

社団法人 日本損害保険協会

松山自動車保険請求相談センター

松山市花園町一三 日本生命

松山市駅前ビル六階 松山調査事務所内

☎〇八九九一四五―二三三五

## 割引証がいらなくなりました

### 身障者国鉄利用の場合

身体障害者旅客運賃割引規則が四月二十日付で改正され、国鉄を利用される際の旅客運賃割引は、本人が身体障害者手帳を発売窓口に出して、行先、乗車券類等を口頭または、メモなどで申し込むことにより、乗車券類が購入できるようにになりました。

今までのように、役場窓口での割引証の交付を受ける必要はなくなりました。ただし、私鉄について

は今まで通り割引証が必要です。

## 新聞購読勧誘にご注意を

### ご注意を

景品の提供、無料紙（無料紙）の配達は違法です。

最近、各地で石けん、タオル、映画、遊園地の入場券などや無料紙を配って、新聞を売り込もうとする動きがありますが、こうした行為は「不当景品類及び不当表示防止法」によって禁止されています。〔禁止されている行為〕

●景品（物品等）を添えて購読を勧誘すること。例えば「石けんや映画の入場券を差し上げますから購読してください。」

●無料紙（無代紙）を配達して勧誘すること。例えば「二か月の新聞代金を無料にし



こうした場合にかかる費用は、巡り巡って結局は新聞の価格を高いものにし、購読者である皆さんの負担となります。新聞が違法な方法で販売されることのないよう、皆さんのご協力をお願いします。

なお、新聞業界においては、現在、新聞が違法な方法で販売されることのないよう、いわゆる新聞販売正常化をはかっています。

公正取引委員会  
愛媛県

